



# 若竹だよい

272

## 【巻頭言】

### 社会貢献

—夏祭り・月見茶会・遍路小屋お接待—

園長 野田大燈

社会貢献と言われ出して久しいですが、福祉よりも企業の方が先行していたかのように思えます。

日本のバブル景気期と言われた 1986 年から 1991 年（昭和 61 年～平成 3 年）は正に「夢泡沫（ゆめうたかた）」の時代でしたが、その夢泡沫に躍らせて企業倒産や自殺者までが現れたのが印象的でした。

そのバブル期にあって、日本を代表する企業経営者達に話しかけたのは、経営コンサルタント船井総研の船井幸雄会長でした。

某年某月、船井会長を訪ねた折に「時間があるなら内の会員さん達と昼食を共にしないか」のお誘いを受けました。

昼食会には JR 東日本の社長さんを始め錚々たる経営者方が顔をそろえていました。

その昼食の最中に、箸を置いた船井会長が「これからは損が出来る企業でないとその企業は成長しない」と言われた。

私は瞬間、会長は仏教で言う「布施行」の事と言われていると思いました。

「布施」とは法事の際にお坊さんへのお礼として渡すもの、と言う先入観があのかもかもしれませんが、困っている人に自分に出来る精一杯の手助けをすることです。

しかし出席している方々は利益追求を一義とする営利団体のトップですので、私は彼らの反応に興味を持ちました。

何と、参加者の大半が箸を置いて大きく頷づいていました。

当時、船井会長は「船井教の教祖」と言われて、その教えに心服する企業人は数多でした。

その後「ボランティア」という言葉が使用されるようになり、阪神大震災の折には大学生がボランティアで参加していました。

しかしながら「ボランティアをしているのだから交通費や弁当くらいは支給してほしい」と言うものから「有償ボランティア」と言って経費を支払うケースまで現れて、ボランティア先進国である外国人の蟹蹙を買いました。

特に「社会貢献は法人または団体、個人による公益あるいは公共益に資する一般を意味する」とありますのでボランティアの拡大版と言えまじうか。

正に船井会長が 4 半世紀前に提唱したのが「社会貢献」だったのです。

そして現在、社会貢献を厭う企業の成長はありません。

初めての会社を訪問してもその大半が事前にホームページで若竹学園や法人の四恩の里を調査されています。

現代の信用の第一歩は「社会貢献」です。

学園では毎年夏に「若竹夏祭り」を催し、日頃お世話になっている方々をお招きしています。

また、1 年を通しての遍路小屋でのお接待や、「四恩の里報恩月見茶会」を催し、多くの方をご招待して茶会・太鼓演奏・田舎そばのお接待、そして心ばかりのお土産を差し上げています。私たちに出来る「おもてなし」です。

## 若竹だより 10月号

朝夕は肌寒くなり、秋の虫の鳴き声が聞こえ、気温や音から秋を実感できるようになりました。2学期が始まりました。小学生も中学生も新たな気持ちで学校生活を送ることができています。

### 芸術の秋



小学生は、図工の時間に身近な廃材を使っておはじきシューター、ゴルフゲームを作りました。自分たちで作ったもので遊ぶことができ、物づくりの楽しさを学びました。



中学生は、美術の時間に漢字のイメージを絵で表現したり、オリジナルの標識を考えたりしました。自分の作品を集中して作り上げることができました。また、友達作品を見て、様々な作品のよさを見つけられています。

## 小学生 クラス分け

これまでは、2名の教員が学年の枠をこえてティームティーチングを行っていましたが、児童の転入や個に応じた指



導を行うため、4年生2名と6年生1名のクラスと、5年生3名のクラ

スにクラス分けをしました。子どもたち



が新しい環境に慣れるにはまだ時間がかかりますが、一人一人

が頑張っています。小学生が新しい場所、人間関係の中でより成長してくれることを期待しています。

## 中学生 補習スタート

3年生は、第2回学習の診断に取り組みました。その結果から各自の成果と課題を見つけることができました。そこで、まずは自分が得意にしたい教科を選択し、補習が始まりました。

3年生のそのような姿を見て、1、2年生も学習意欲が高まってきています。

一人一人が自分の目標を立て、これまで以上に熱意をもって学習に取り組めるよう願っています。



## 峰山公園外遊び



9 月 4 日 (日) 峰山公園へ遊びに行きました。着くとすぐに走り出して、アスレチックや遊具で遊びを園生同士で競い合ってみたりと楽しく過ごしました。

## ウォークラリー下見

9 月 10 日 (土)、ウォークラリーの下見を兼ねて学園からサンポートまで歩きました。強い日差しの中、後半に疲れている子もいましたが、約 14 km を 3 時間 10 分かけて歩き切りました。ウォークラリー本番に向けて、これからも少しずつ頑張っていきます。

## 月見茶会

9 月 17 日 (土) 今年も月見茶会が開催されました。学園では主に女の子有志を中心に太鼓演奏、浴衣に着替えてお点前、お運びをの頑張りました。

太鼓は毎月、和太鼓集団・満天さんに教えていただいているのですが、「若竹讃歌」に合わ



せて作って下さった演奏を、今回初めて披露しました。満天さんも応援に来てくださり、立派に演奏することが出来ました。



お点前は 3 週間ほどの短い期間で練習でした。茶道の作法を何度も練習して本番に臨み、お

客さんに一生懸命お茶接待を頑張っていました。

学園で留守番をしていた子ども達は、法要に参加したり、お茶席に出席しました。接待を受ける際、少し緊張して、お茶碗を回す手がぎこちなく見えました。

お月見茶会の最後には、しっぽく蕎麦がふるまわれ、園生全員で頂けて嬉しそうにしておりこころも体も温まった秋の夜でした。

来園下さった皆様、ありがとうございました。

### 小学 4 年生 女子の感想

今年もお茶会をやって楽しかったです。お客さんにお茶を運んだり、お菓子を運んだりして、いい経験になる行事なので来年も参加したいです。

### 中学 3 年生 女子の感想

私にとって、今回の月見茶会は、とてもいい経験になりました。浴衣を着る事も、お運びをする事も、私の日常とは程遠く、初めての体験するものばかりでした。

また、今回の為に練習を積み重ね、努力してきた事は、「無駄ではない」と実感する事も出来ました。また、私は今回のお茶会でたくさんの事を得られたと思います。その中で、私が一番「これからの生活で大切にしていこう」と思っている事は、「言葉や態度について」です。私は「ありがとう」や「来年も来るね」などお客様から頂いた言葉をとてもうれしく思っています。私は、こんな風に感謝の気持ちを素直に表現する人を見てすごいなと思いました。場の空気は、言葉一つで変わるものです。私も、相手の事を尊重した態度や発言を心掛けていきたいと思っています。

### 中学 3 年生 女子の感想

9 月 17 日に私達は月見茶会をしました。私は太鼓とお運びを頑張りました。

**中学 3 年生 女子の感想**

初めての月見茶会は、私にとってとても良い経験になりました。最初は、2 週間くらいしかない短い練習期間に不安があったけれど、練習する度に覚えられていくのが自分でも分かったし、周りの人からの期待に応じられるよう頑張ろうとする気が持てました。本番は、たくさんの方が来ていたので本当に緊張しました。

でも、教わった通りに落ち着いてやる様に心がけて一生懸命出来たと思います。先生方が励まして下さったお陰で、自信を持ってお点前が出来ました。大きな失敗もなく、無事に月見茶会を終える事ができて、達成感があります。このようにおもてなしをして喜んでもらうことは本当に嬉しいと心から思いました。もし、またこのようなお茶会を開く機会があれば、ぜひまたお点前で参加したいと思います。

# カード遊び

学園の男子の中で、カード遊びが流行っています。買物学習等で購入し、デッキを作ったり、学園にある様々な種類のカードで遊んでいます。

また、学園には来て初めてカードゲームをする園生もいます。その園生には、ルールを知っている園生が優しく教えてあげながら一緒に楽しんで遊んでいます。



～御寄附ありがとうございました～

久保田 麵業 様

うどん 沢山

たまや 様

食品、雑貨一式

## 9 月行事

15 日 買物学習

17 日 月見茶会

25 日 食育・お団子づくり

**在籍人数** 平成 28 年 9 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	3	2	5
	中学生	5	5	10
	その他	0	0	0
	計	8	7	15
女 子	小学生	1	0	1
	中学生	5	2	6
	その他	0	0	0
	計	6	2	8
合計		14	9	23

**編集後記**

夏休みも終わり、2 学期が始まりました。季節も秋になり、芸術の秋やスポーツの秋など様々な秋を子ども達と一緒に楽しんでいきたいと思っています。

児童指導員 松下 幸太郎

**第 272 発行**

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>E メール [wakatake@4on.or.jp](mailto:wakatake@4on.or.jp)

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈